

電子技術を学ぶ

- アナログ回路からデジタル回路まで -

今日の高度情報化社会を支えるエレクトロニクス技術の革新には、目を見張るものがあります。当センターでは、その基本を理解していただくために、長期専門研修を開催しており、ここに紹介いたします。

研修について

近年、デジタル技術の進展はめざましく、IT等の情報産業に大きく貢献しています。その基盤となる電子技術は重要な役割を担い、より一層の専門性や創造性が求められています。

本研修は、変化の激しい現在の「ものづくり開発」に対応するため、実務を主体としたカリキュラムを編成しています。講義と実習をペアに構成し、アナログ回路からデジタル回路まで製品開発等の実際面で役立つものを企画しています。電子回路シミュレーションを利用したオペアンプ基本回路の設計、シングルチップマイコン(PIC)のプログラミング等の技術を習得して頂けます。

本研修は、ご好評につき毎年行っており、通常6月～7月頃に実施しています。全体で20名程度を予定しておりますが、講義だけではなく、実習も交え理解を深めて頂けます。実習の際は4グループ(各グループ5名)で行いますので、きめ細やかな対応が可能です。



図1 平成19年度実習風景
実習では、職員が丁寧に対応いたします

研修概要

研修内容については下記の内容を予定しており、8日間程度の日程です。

	科目
講義 各3時間 (アナログ回路設計法については6時間)	<ul style="list-style-type: none"> アナログ回路設計法 I/O 制御用シングルチップマイコン (PIC) 電子部品・デバイス活用技術 EMC 技術 電子機器の製品安全
全体実習 6時間	<ul style="list-style-type: none"> I/O 制御のためのプログラミング
班別実習 各6時間	<ul style="list-style-type: none"> センサ技術 電子回路シミュレーション EMC 測定 総合演習 (PIC 応用技術)

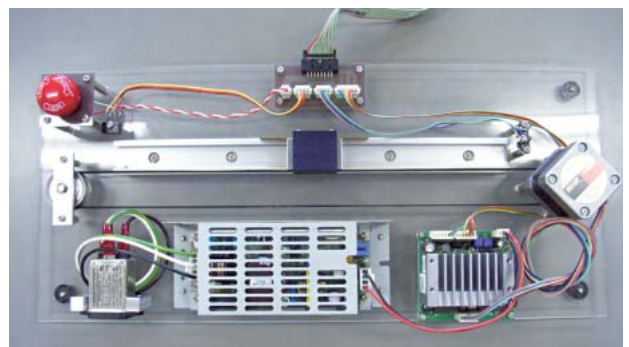


図2 総合演習(班別実習)駆動基板
班別実習の総合演習では、シングルチップマイコン(PIC)のADコンバータにセンサ等からの信号を取り込み、ステッピングモータを動かす実習を行います

電子技術者の不足が言われていますが、エレクトロニクスを総合的に学ぶ上で最適な研修です。積極的なご参加をお待ちしております。

研究開発部第一部 エレクトロニクスグループ <西が丘本部>
五十嵐美穂子 TEL 03-3909-2151 内線447
E-mail:igarahi.mihoko@iri-tokyo.jp